

【悲報】 転生者ワイ、わけもわからず聖剣になる。

シーボーギウム

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

転生したら聖剣でした。

わけがわかりませんがなんとか先輩方の知恵を借りて頑張りたいです（血涙）

# 目次

1  
スレ目

P a r t 3	P a r t 2	P a r t 1
37	18	1



## 1 スレ目

## Part 1

1：聖剣

何これ、どういうこと？

2：魔剣

あー新剣か、久しぶりだ。

3：妖刀

いらつしやい。突然で驚いてるだろうけど落ち着いてくださいね。

4：絶剣

我等がしっかり教えてやる。

5：神剣

とりあえず周囲の状況教えてクレメンス

6：聖剣

よく分からんけど、祠？神殿？みたいなどこにいる。このチャットは脳内で打ち込むイメージであつてる？

7：妖刀

あつてますね。

台座に刺さつてる感じですか？

8：神剣

この初々しい感じ久しぶりだな

9：魔剣

今はこんだけしかおらんか

10：聖剣

ほんとこれマジでどういう状況？神様？みたいなのに「お前聖剣な」とか言われた瞬間謎の台座に突き刺さってたんだけど……

11：絶剣

相も変わらず適当だな

12：妖刀

ここにいる人だいたいそんな感じ経験してるんで安心してください

13：魔剣

>>>12

安心……安心……？

14：絶剣

始剣がいれば説明が楽だったのだから

15：神剣

今確か完全適合者の元で頑張ってるから無理ゾ。

16：妖刀

始剣の完全適合者多い……多くない……？

17：魔剣

適合判定ガバガバだからね、仕方ないね（諦観）

18：聖剣

これマジでどうすればええんや？

普通何か説明することない？

19：絶剣

一番初めに剣になった始剣ですら説明無しだったらしいからな。

とりあえず自分の銘を確認しておけ。知りたければ頭に思い浮かぶはずだ。

20：妖刀



さて名前は何ですかね？

21：聖剣

何か『無垢の聖剣』とか出てきた。名前は無いっぽい？

22：魔剣

>>21

マ？

23：絶剣

無銘か……

24：妖刀

能力把握出来ない感じですねこれ……

25：神剣

Oh……

26：聖劍

なんかヤバいんかこれ……

27：絶劍

どちらかと言うと面倒といったところだ。ヤバいと言えばヤバいが。

28：魔劍

自分の能力把握しないと適合者が現れた時に力を発揮出来ない。

29：神劍

無垢つてどこに何かヒントはありそうだけど……

30：妖刀

こんな例ありましたっけ？

私新しめの剣なので知りませんが。

3 1 : 絶剣

この中で一番古いのは神剣だろう、どうだ？

3 2 : 神剣

俺の知る限りは知らないっす。

神様ガバガバ過ぎるッピ!!

3 3 : 魔剣

まああの適当神なら仕方ないっすね。

3 4 : 聖剣

仕方なくねえ！てかほんとになにこれ!? 何で俺剣になってんの!?

3 5 : 絶剣

落ち着け。時間ならば腐るほどある。

3 6 : 妖刀

とりあえず出来る限りの説明をしましょうか。

37：神劍

自分が死んだ記憶はあるよな？その後神に転生させられたのも覚えてるよな？

早い話、お前は俺たちと共通の世界で聖劍として転生したってこと。この世界では特殊な力を持った武器が多くある。

んで、俺達はその中でも特別な意思を持つ劍として転生させられたってわけ。

38：魔劍

解説乙。

まあ細かいことはおいおい教えていくから。

39：妖刀

基本私達不老不死なんで、ゆっくりで問題ありませんよ。

40：聖劍

不老不死!?!精神死なんのか!?!

4 1 : 絶剣

そこはあの神が調整しておる。

4 2 : 神剣

ワイは軽く1000年は生きてるけど精神はピチピチゾ。

4 3 : 妖刀

>>4 2

ピチピチ○

4 3 : 神剣

お?やるか?自動追尾でへし折ってやろか?ん?

4 4 : 妖刀

同じ剣にはあんたの能力発動しないの忘れたんですか?痴呆症ですか?

45：魔劍

ここでもない言い争いすんのやめろ

46：聖劍

これ俺どうすればいいんだ……（n回目）

47：絶劍

一先ず魔法を使える様にしておけ。

やり方は我等が教える。

まずある程度自由に動ける様に浮遊魔法からだ。

48：聖劍

え？台座の意味は？

49：神劍

それただの雰囲気作りだからほぼ無意味やで

50：聖剣

ええ……

73：聖剣

ふぐぬぬぬぬぬぬ  
!!!!!!

【動画】

74：魔剣

センスねえなあ……

75：妖刀

1ミリも浮いてませんね

76：神劍

これは別ルート試した方が良いか？

77：絶劍

ここまで浮けないのも珍しいな……

78：妖刀

思えば聖劍さん異例尽くですよ。

銘は無いわ魔法もまともに使えないわで

79：絶劍

何かからくりがあるかもしれんな

80：始劍

今北産業

81：魔劍

>  
>  
80



聖劍爆誕

銘が不明

今のところ魔法も使えない

82：始剣

なんやそのクソみたいな状況

83：聖剣

ワイが一番聞きたい

84：神剣

聖剣くんほんと不憫

85：妖刀

さては言うほど不憫に思っていない？

86：始剣

聖劍か、長い事劍として生きてきたけど何気に聖劍今まで生まれてなかったんだな

87：絶劍

そういえばそうだな。

一番初めに生まれても不思議ではないだろうに。

88：魔劍

理由はなんだろうなー

始劍は何か思い当たるもんあるんか？

89：始劍

うーん、名前かなー？

伝説上の劍って見方を変えれば聖劍になったりするじゃん？そういう意味で聖劍ってかなり幅が広いし多いわけよ。だからそういう無数の要素が収束するのに時間がかかったのかなーと。

90：神劍

なるほど、分からん

91：魔剣

>>90

ポンコツソードは黙ってようか

92：妖刀

始剣さんの考案が合ってそうですね

93：絶剣

銘が無いのもそういう要素が収束して出来た剣だからということか。

94：聖剣

【悲報】ワイ、ポンコツ

95：妖刀

1000年近くこの世界生きていて理解出来ない真のポンコツと、この世界に来て一

日も経ってない聖剣さんとじゃ話が違いますよ

96：神剣

みんな俺に厳しくなーい？

97：魔剣

>>96

残当定期

98：妖刀

>>96

好みで適合者決めて世界を危機に陥れたの忘れたんですか？

99：絶剣

>>96

お前は黙ってろ

100：始剣

まあとりあえず魔法が使えないなら自分の固有の能力検証するのが一番じゃない？  
何かできそうなことある？

101：聖剣

うーんそうは言

102：魔剣

どうした？

103：妖刀

異常事態発生ですか？

104：神剣

応答しろ！聖剣！応答しろ！聖剣——ツ！！

## Part 2

143 : 始剣

聖剣大丈夫かこれ……

144 : 魔剣

正確な場所も分からんなんも干渉出来んしな……

145 : 聖剣

おまたせ

146 : 神剣

お！戻ってきた

147 : 妖刀

何があつたんですか？

148：聖劍

ワイのいる祠に謎のロリが入ってきた。なおボロボロな上に台座の目の前でぶつ倒れてた模様。

149：絶剣

ややこしいことになったな。

復帰が遅かったのを見る限り、自分でどうにかしていたのか？

150：聖剣

>>149

そう。どうにかしようとオロオロしてたら何か水出せたからそれで洗ったり水飲ませたりしてた。

今は起きて不思議そうに周囲見回してる。

151：魔剣

その子に話しかけられるか？

152：聖劍

口ないんだが

153：神劍

(聞ッえますか……聞ッえますか……)

154：始劍

こいつ!? 脳内に直接ッ!?

155：妖刀

大体こんな感じですね

156：聖劍

わかった。やってみる

157：絶劍



さてどうなるか

158：始剣

これで話しかけられたら聖剣は……

159：神剣

特殊性癖ソード爆☆誕

160：魔剣

>>159

ここの剣大概他のこととやかく言えないがお前だけは言うな。

161：妖刀

>>159

---

457：始剣

おい神剣！お前何魔族を適合者にしてんだ!?はよ契約切れ!!

458：封剣

あれに何言つても無駄だろ。適合者に頼んで先に向かつてる。

459：神剣

ヤダ！小生ヤダ！俺は青肌悪魔っ娘の剣になるんだ！！

460：魔剣

おい！刀剣覚醒で世界中に神剣が散らばり始めたぞ!? ヤバいぞこれ!? 早く対処し  
ねえと世界が滅ぶ!!

461：神剣

ヤッホーイ!!俺のリリスちゃんは最強だぜ——ッ!!!

162：絶剣

>>161

他の剣は他人に迷惑かけてない範疇で楽しんでいる中世界を危機に陥れる剣の中の最クス。

163：始剣

それ見てたら腹立ってきた。

封剣呼ば。

164：神剣

>>163

やめてクレメンス

165：妖刀

反応爆速で草。見事に封剣さんにトラウマ植え付けられていますね

166：魔剣

マジでアイツとアイツの適合者いなかったら世界滅んでたからな

167：聖劍

話の途中すまんな。  
話しかけられたゾ

168：絶劍

適合者か……………

169：妖刀

また業の深い……………

170：神劍

魔劍に比べればマシ定期

171：魔劍

＞  
＞170

うるせえ

しかし聖劍ロリコンか。

172：聖劍

さつきからちよいちよい出るけどその適合者ってなんぞ？  
あとロリコン言うなや

173：始剣

ぶっちゃけそいつの性癖だな。

74：聖劍

???????1?

175：鈍器

適合者は要するにそいつ自身の性癖に当て嵌る相手ってこと。相手が俺らの性癖に  
マッチしてればしてるほど俺らを上手く扱える。

176：魔劍

お、鈍器ニキ

177：始剣

んで、完全に性癖ドンピシャだと完全適合者つって俺たちから引き出せる力が段違いに上がる。

因みに長い事生きすぎて性癖の拡張に次ぐ拡張のせいで俺は完全適合判定がガバガバだゾ

(長生きし過ぎると) 性癖壊れちゃう

178：神剣

ワシ(53)とか浮浪者のオッサン(60)とかでもイけるやべー奴。

179：絶剣

安心しろ聖剣。この中ではお前の性癖はノーマルな方だ。

180：鈍器

お前も良し！お前も良し！一切合切バッチコイ！！ 始剣

青肌悪魔っ娘こそ至高！ 神剣

ホモ堕ち元ノンケイケメンこそ至上！ 妖刀

クレイジーサイコレズ is JUSTICE 絶剣

は？ 欠損持ち男の娘が最高なんだが？ 魔剣

イエス！ ロリータ！！ ゴータッチ！！ 聖剣 ↑NEW!!!

181：始剣

ヤンキー娘好きとかいうノーマル性癖の鈍器ニキ

182：妖刀

確か今丁度ヤンキー娘のところにいるんでしたっけ？

183：鈍器

せやでー

戦闘方法も俺を使うのにピッタリな荒々しい感じでいいぞーこれ

184：聖剣

これこの子完全適合者だわ……

185：神劍

マ？転生数日で完全適合者と会えるとか運良いな

186：魔劍

見た目 k w s k

187：聖劍

白髪褐色隻眼口リ

188：神劍

ファッ!?

189：鈍器

十分特殊な側じやつたか……

190：妖刀



いらつしやい。こちら側は楽しいですよ（＾＾）

191：始剣

……イけるな（完全適合判定）

192：魔剣

>>191

知ってた

193：聖剣

何かさつきからこの子助けようとすれば大概何でもできるんだが。

眼帯作れたし傷も治せた。

194：神剣

>>193

眼帯はお前の性癖やんけえ！

195：鈍器

>>193

先に服作つてもろて……

196：絶剣

なぜ浮遊すら出来なかったのにそんなことができるんだ？

197：妖刀

そういえばそれ疑問ですね。

198：始剣

近くに完全適合者がいるから能力が拡張されたか？

199：妖刀

>>198

拡張されたとしても刀剣覚醒か刀剣領域だと思いますが。それで普通の魔法が使えるようになるのは違和感がありますし。

200：魔劍

聖劍他に変わったことあるか？

201：聖劍

待って女の子に柄持たれた瞬間刀身の色が真っ黒になった。

202：神劍

元々何色だったん？

203：聖劍

透明。刀身はあるけどガラスでできてるような見た目だった。

今は真っ黒。

204：始劍

聖劍とは

205：鈍器

闇堕ち早スギイ！

206：魔剣

聖剣の謎が深すぎる。

それは不思議な剣だった。

目が覚めた時、私がいたのは真っ白な祠だった。床も壁も天井も、その全てがこの世のものとは思えない白い何かによって形成されていた。

(……えよ……応えよ……)

「え？」

そして、その祠の中心にある台座には剣が突き刺さっていた。その剣の刀身は透明な、硝子のような見た目をしている。

その奇妙な声は剣から聞こえてくるようだった。

(応えよ……)

「あなたが……話しかけてきてるの……？」

(いかにも……私は無垢の聖剣……)

頭の中に直接響くような声に不可思議な感覚に陥っていると、視力の消えた右目が眼帯で覆われた。そしてそれが目の前の剣によるものだと瞬時に理解する。

(またこの力だ……)

真理の魔眼。現象や、それが周囲に齎す影響と、人為的なものならばそのやり方を、自然のものならその原因を見ただけで理解する理の外の力。この力のせいで私は気味悪がられ、片目を潰されてこの森に捨てられた。しかし片目を潰されてなお、私の力は以前となんら変わっていない。

(ほんと、嫌になる)

いつその事もう片方も潰してしまおうか、と考えて、目の前の剣が目に入る。

(もう……)

目を潰すなんて面倒なことせずに死んでしまおうか。そんな考えで剣の柄を手にとった瞬間、透明で無機質だった刀身が漆黒に染まった。

そして、またも魔眼が私がこの剣の完全適合者であると伝えてくる。それは、私に

とつて余りに納得のいかないものだった。

「なんで……」

（ん？）

「なんで私が完全適合者なの……」

（何を言っている？）

誰にも必要とされなかった。誰もが私に死を望んだ。誰にも必要とされることが無く、誰からも死が望まれる私が、なぜこの剣に選ばれてしまったのか。私よりもっと相応しい人がいるはずだ。私など、つい一瞬前に自害を考えていたような碌でもない存在だと言うのに――

「何故……」

（何故も何も無い。私が相応しいと判断しただけだ）

「違う……！ 私は相応しくなんか無い！ 聖剣なんてものに選ばれるような存在じゃない！ 私はこの世に必要な（この世に必要な存在などいない）っ！」

有無を言わさぬ口調だった。思わず言葉を失う。

（例え誰もお前を必要とせずとも私がお前を必要としている。例え誰もお前の死を望もうと私がお前の生を望む。例え誰もお前を憎もうと、私がお前を愛そう）

「なん……で……そ……まで……」

（私がそうしたいからだ）

理由になっていない。だがその言葉は確かに私の心を救ってくれた。ただ、そうしたい。それだけで私を必要としてくれる人は、誰一人いなかった。

今、私の顔はどんなことになっているのだろう。きつと酷い顔だ。なんせ初めて浮かべる表情。顔の筋肉が固まっていて思うように動かない。でも、出来れば許してほしい。

「あり……がとう……」

だって笑顔は初めてなんだから。

（やべえ……口調戻すタイミング消えた……）



## Part 3

436：始剣

適合者が起きた。

ちよつと落ちるから戻ってきたら色々教えてくれ。

437：魔剣

おけ

438：妖刀

お疲れ様です。

439：絶剣

完全適合判定ガバガバだと大変だな。

440：神剣

おっつー

441：鈍器

聖劍帰ってくる前に消えたか。

442：魔劍

そう言えば聖劍遅いな。

443：妖刀

まあ完全適合者見つけたみたいですし長くなるのは仕方ないのでは？

444：聖劍

【朗報】ワイ将、能力が判明する。

445：神劍

マ？

4 4 6 : 鈍器

k w s k

4 4 7 : 聖剣

簡単に言うとうと持ち主に合わせて能力が変化するのが俺の能力らしい。

今はロリっ娘、スピカちゃんに合わせて何か黒いエネルギーが操れる。

4 4 8 : 魔剣

長い事いなかった理由は？

4 4 9 : 聖剣

俺のいた祠？のある森から近くの街にまで移動してた。

今は道すがらで狩った魔物を金に変換して宿にいる。

4 5 0 : 妖刀

>> 4 4 9

アウトです。

451：聖劍

何もしてねーし剣だからできねーよ。

あと聞きたかったんだけどこの世界の人間ってあんな異常な身体能力してんの？  
スピカちゃん明らかにNINJAな挙動してたんだけど。

452：鈍器

特殊な武器は持つだけでも持ち主の身体能力を強化するんだよ。

意志を持つ武器な俺達であれば超人と言って差し支えないレベルだな。

453：神劍

俺達の中でも多少差はあるけどなー。

元々ある能力が強ければ強いほど身体強化の倍率は減るゾ

454：聖劍

比較対象が無いからどんなもんかわからん……

455：妖刀

完全適合者ならその倍率も上がりますから、幼女がN I N J A挙動するくらいなら不思議じゃありませんよ。

それより疑問なのは手に入れたばかりの力でN I N J A挙動できてることですね。もしかして元々何かと戦う家系だったりするんですか？

456：聖剣

いや、何か真理の魔眼なるものを持つてるらしい。

457：魔剣

フアツ!?

458：神剣

たまげたなあ……

459：鈍器

チートやんけえ!!

460：絶剣

平然と反則設定生やすのやめろ

461：聖剣

そんなヤバいもんなん？

462：妖刀

英霊召喚で神霊が本体そのまま来た感じですね。

463：神剣

魔法版サイタマ

467：魔剣

魔法使い界の縁<sup>ウイザード</sup>壱

477：鈍器

魔法使い版五条悟

478：絶剣

ゴールド・エクスペリエンス・レクイエム

479：聖剣

ヤバイやんけ……

480：輝剣

ちよつとお？来たばかりの子に色々吹き込んだりダメじゃない！

それはあくまで覚醒した後の話でしょう？

覚醒後なら確かに安心院なじみちゃん並のチートかもしれないけどね。

481：魔剣

輝剣ネキいらつしやい

482：鈍器

姉御オ!!

483：妖刀

姐さん久しぶりです。

後で個チャで語りませんか？

484：絶剣

>>483

語る（腐）

485：聖剣

どなた？

486：輝剣

初めましてね聖剣ちゃん。

アタシは輝剣。

よろしくね



487：妖刀

姐さんは始剣並に長くこの世界にいる剣ですよ。

色々詳しい方ですから聞きたいことがあれば彼女に聞けばある程度分かります。

488：鈍器

姉御は始剣がない時の解説役みたいな感じだな。

分野によっちゃ始剣より詳しいぞ。

489：聖剣

はえー

じゃあ早速で悪いけど真理の魔眼ってなんぞ？

490：輝剣

真理の魔眼って言うのはね、文字通り真理を覗く魔眼なの。

魔法の構成の真理、剣術や槍術の真理、正体不明の現象の真理。

それがどういふものかを見ただけで理解するのが真理の魔眼。

だから1度見ただけでそれまで何も知らなかった筈の武術や魔法の使い方、アタシ達みたいな武器の扱い方まで完璧に知って、かつ理解できるの。

恐らくスピカちゃんやんは貴方を完璧に操れるし、これから相対する敵の使う魔法全てを悉く理解し、自分のものにしていくわ。

その果てにあるのが覚醒よ。

簡単に言えば写輪眼ね。

覚醒は少し違うけど輪廻眼みたいなものよ。

#### 491：魔剣

覚醒後に関してはマジで輪廻眼じゃ説明つかないから、覚醒までのプロセスが輪廻眼と似てるぐらいに考えとけ。

#### 492：神剣

俺達みたいな武器の持ち主より覚醒した真理の魔眼の持ち主の方が強いとかいうバグ。

#### 493：絶剣

&gt;&gt;492

位相が違う力と比べるな

494：聖剣

ヤバイやんけ……

でもこの子片目を潰されてるんだが……

495：妖刀

片目潰されたくらいで性能失う代物じゃありませんよ。

496：魔剣

なんら影響無いな。

497：絶剣

覚醒さえすれば極論両目失っても機能する代物だぞ？問題あると思うか？

498：聖剣

ええ……

499 : 鈍器

あれか？ 聖剣はスピカちゃんに見てもらって能力判明した感じか

500 : 星剣

そう。

スピカちゃんが持ち主になって変化した能力も把握してる。

501 : 妖刀

!?

502 : 絶剣

名前が変わった……？

503 : 星剣

え？ は!?! 何これ!?!

504：輝劍

聖劍ちゃん、今は星劍ちゃんかしら？  
刀身か何かに変わったことはある？

505：神劍

こんなん見た事ないぞ……

506：魔劍

能力に合わせて名前も変わったってことか？

507：鈍器

>>506

それならスピカちゃんが持った時点で名前が変わってないとおかしいか？

508：星劍

何か刀身が変わった……

真つ黒なのは変わらんけど奥の方に星みたいな光が瞬いてる。  
あれ、マイクラのエンドゲートみたいな感じ。

509：輝剣

そう言えば始剣ちゃんは星剣ちゃんに関して何か言ってたのかしら？

510：妖刀

>>509

ログに残ってる筈です。

511：輝剣

ありがとね。

ちよつと見てくるわ

512：絶剣

別にここで悩む必要無いだろう。

真理の魔眼の持ち主が星剣のそばにいるのだから。

513：神劍

あ

514：魔劍

あ、そつかあ（池沼）

515：鈍器

さ、更なる想定外に備えようとしたただけだし……（震え声）

516：妖刀

よくよく考えればそうですね。

517：星劍

くあwせd r f t g yふじこlp

518：鈍器

どうした!?

『ここより南方! 獣種、亜人種、被造種による大規模な魔物の群れの接近を確認!! 戦闘能力のある者は直ちに南門へ!!』

そんな声が街中に響いた。おそらくは魔道具によるものだろう。私は飛び起きて星剣を手取る。窓枠を足場に跳躍し街の南方を見る。

(……………倒せる)

己の目から伝わってくる情報から即座にそう判断し、着地の後に聖剣を夜空に向けて掲げる。

「この刃は宇宙<sup>ソラ</sup>」

この剣は、凄まじい力を秘めている。この目を持つ私が、能力以外知る事が出来ないということが何よりの証拠だろう。

この剣に向けられる私の言葉は強い意味を持つ。いや、言葉でなくとも、それこそ意



思すらも強い影響を与える。今この剣が名を変えているのは、私がその真つ黒な刀身を夜闇のようだと思つたが故だろう。だがそれだけでは十全に力を發揮出来ない。ならばやるべきは言葉にして、明確に力の方向性を定めること。

ゆつくりと、この目でもなければ気付くことすら不可能なごく微細な光がその明るさを増していく。真つ黒な刀身が、刀身の形をした宇宙へと変わっていく。

「暗き終焉星の息吹、星々を喚らう諸人を照らす極光」

二重詠唱。この剣を手にするより前に見た魔法使いが使っていた技術を模倣する。表には恵みの光、裏には滅びの闇。相反するそれらを同時に行使用する。

「光を潰す闇を消す光」

魔力が高まっていく。この剣無しには制御不可能な規格外の暴威を振じ伏せ、己が力とする。全く逆の力を扱うメリットは、本来殆ど無い。今私が扱うこの二つは真逆では

ある。だか

「不適なる愚者を塵芥とす不敬なる愚者を塵芥とす」

—— 不用意に近付いた者へ与える結果は全く同じだ。

結果、相反するはずの力は高め合い、融合し、絶死の力へと変ずる。

「虚無の顎虚無の顎」

認識不能、意味と暴威のみを内包し、万物へ強制的な理解を押し付け、意思ある者の

精神を削り取る虚無が刃の形をした宇宙から放たれる。それらは迫っていた魔物の群れを呑み込み、喰らい尽くした。

「これでいい………はず………」

この剣は、私を選んでくれた。名は無く、持ち主に何れ名を刻まれる事を運命づけられた聖なる剣。正直、未だに自分が相応しい持ち主であるとは思えない。だけど、価値の無かった私を必要だと、己に相応しいのだと認めてくれたその想いには応えたいと思った。

この聖なる剣に相応しい存在、それがどれ程遠くにあるかは分からない。生きている内にはたどり着けないかもしれない。それでも、

(せめて命が尽きるまで)

相応しい存在になるために生きると、私は決めたのだ。

「い、いれは………」

魔道具を使い街中に魔物の群れの脅威を伝えた女は、目の前の光景に目を剥いた。数秒前まで獰猛な笑みを浮かべ迫ってきていたはずの魔物達は、その全てが例外なく心臓、あるいはコアを削り取られ絶命している。

「一体何が……」

後に、彼女は語り部となる。数百、時には数千年周期で生み出される神話の如き英雄譚、その始まりの一説を語る存在へと。